

【令和2年度点検】別添2_内部質保証に関する自己点検・評価シート(大学院工学研究科)

教育課程と学習成果（点検実施年度：R2 年度（R 元年度実績））	
評価基準	評価基準に係る根拠資料・データ欄
<p>1 学位授与方針</p> <ul style="list-style-type: none"> 学位授与方針が大学等の目的を踏まえて、具体的かつ明確に策定されているか。 <p>※ 3年に一度の点検（次回実施予定：令和4年度）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 公表された学位授与方針
<p>【特記事項】</p> <p>①上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。</p> <p>②この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、<u>根拠資料とともに簡条書き</u>で記述すること。</p>	
<p>【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。（該当する口欄をチェック■）</p> <p><input type="checkbox"/> 当該基準を満たす</p> <p><input type="checkbox"/> 当該基準を満たさない</p>	
<p>優れた成果が確認できる取組</p>	
<p>改善を要する事項</p>	

教育課程と学習成果（点検実施年度：R2 年度（R 元年度実績））	
評価基準	評価基準に係る根拠資料・データ欄
<p>2-1 教育課程方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 教育課程方針において、学生や授業科目を担当する教員が解り易いように、①教育課程の編成の方針、②教育課程における教育・学習方法に関する方針、③学習成果の評価の方針を明確かつ具体的に明示しているか。 <p>※ 3年に一度の点検（次回実施予定：令和4年度）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 公表された教育課程方針
<p>2-2 教育課程方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 教育課程方針が大学の目的及び学位授与方針と整合性を有しているか。 <p>※ 3年に一度の点検（次回実施予定：令和4年度）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 公表された教育課程方針及び学位授与方針
<p>【特記事項】</p> <p>①上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。</p> <p>・</p>	
<p>②この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、<u>根拠資料とともに箇条書きで記述すること。</u></p> <p>・</p>	
<p>【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。（該当する口欄をチェック■）</p> <p><input type="checkbox"/> 当該基準を満たす</p> <p><input type="checkbox"/> 当該基準を満たさない</p>	
<p>優れた成果が確認できる取組</p> <p>・</p>	
<p>改善を要する事項</p> <p>・</p>	

教育課程と学習成果（点検実施年度：R2 年度（R 元年度実績））	
評価基準	評価基準に係る根拠資料・データ欄
3 教育課程の体系性 ● 教育課程の編成が、体系性を有しているか。 ※ 6年に一度の点検（次回実施予定：令和7年度）	● 体系性が確認できる資料（カリキュラム・マップ、コース・ツリー、ナンバリング等） ● 授業科目の開設状況が確認できる資料（コース、教養・専門基礎・専門等の分類、年次配当、必修・選択等の別）
【特記事項】 ①上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。 .	
②この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、 <u>根拠資料とともに簡条書き</u> で記述すること。 .	
【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。（該当する口欄をチェック■） <input type="checkbox"/> 当該基準を満たす <input type="checkbox"/> 当該基準を満たさない	
優れた成果が確認できる取組 .	
改善を要する事項 .	

教育課程と学習成果（点検実施年度：R2 年度（R 元年度実績））	
評価基準	評価基準に係る根拠資料・データ欄
<p>4 授業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 授業科目の内容が、授与する学位に相応しい水準となっているか。 <p>※ 3年に一度の点検（次回実施予定：令和4年度）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● シラバス
<p>【特記事項】</p> <p>①上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。</p> <p>.</p>	
<p>②この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、<u>根拠資料とともに簡条書き</u>で記述すること。</p> <p>.</p>	
<p>【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。（該当する口欄をチェック■）</p> <p><input type="checkbox"/> 当該基準を満たす</p> <p><input type="checkbox"/> 当該基準を満たさない</p>	
<p>優れた成果が確認できる取組</p> <p>.</p>	
<p>改善を要する事項</p> <p>.</p>	

教育課程と学習成果（点検実施年度：R2 年度（R 元年度実績））	
評価基準	評価基準に係る根拠資料・データ欄
<p>5 他大学等における既修得単位認定</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 他大学又は大学以外の教育施設等における学習、入学前の既修得単位等の単位認定を行っている場合、認定に関する規定を法令に従い規則等で定めているか。 <p>※ 6年に一度の点検（次回実施予定：令和7年度）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 明文化された規定類
<p>【特記事項】</p> <p>①上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。</p> <p>.</p>	
<p>②この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、<u>根拠資料とともに簡条書き</u>で記述すること。</p> <p>.</p>	
<p>【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。（該当する□欄をチェック■）</p> <p><input type="checkbox"/> 当該基準を満たす</p> <p><input type="checkbox"/> 当該基準を満たさない</p>	
<p>優れた成果が確認できる取組</p> <p>.</p>	
<p>改善を要する事項</p> <p>.</p>	

教育課程と学習成果（点検実施年度：R2 年度（R 元年度実績））	
評価基準	評価基準に係る根拠資料・データ欄
<p>6 学位論文の作成等に係る指導体制</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学院課程においては、学位論文の作成等に係る指導に関し、指導教員を明確に定めるなどの指導体制を整備し、計画を策定した上で指導することとしているか。 <p>※ 6年に一度の点検（次回実施予定：令和7年度）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 研究指導、学位論文（特定課題研究の成果を含む。）指導体制が確認できる資料（規定、申合せ等） 研究指導計画書、研究指導報告書等、指導方法が確認できる資料 国内外の学会への参加を促進している場合は、その状況が確認できる資料 他大学や産業界との連携により、研究指導を実施している場合は、その状況が確認できる資料 研究倫理に関する指導が確認できる資料 TA・RA としての活動を通じた能力の育成、教育的機能の訓練を行っている場合は、TA・RA の採用、活用状況が確認できる資料
<p>【特記事項】</p> <p>①上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を 400 字以内で記述すること。</p> <p>.</p>	
<p>②この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、<u>根拠資料とともに簡条書き</u>で記述すること。</p> <p>.</p>	
<p>【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。（該当する口欄をチェック■）</p> <p><input type="checkbox"/> 当該基準を満たす</p> <p><input type="checkbox"/> 当該基準を満たさない</p>	
<p>優れた成果が確認できる取組</p> <p>.</p>	
<p>改善を要する事項</p> <p>.</p>	

教育課程と学習成果（点検実施年度：R2 年度（R 元年度実績））	
評価基準	評価基準に係る根拠資料・データ欄
7-1 授業週数 ● 1年間の授業を行う期間が原則として 35 週にわたるものとなっているか。 ※ 毎年度点検	● 1年間の授業を行う期間が確認できる資料(学年暦、年間スケジュール等) ・ <u>6-4-1-01_(02)大学院学年暦(令和元年度)</u>
7-2 授業週数 ● 各科目の授業期間が 10 週又は 15 週にわたるものとなっているか。 ※ 毎年度点検	● 1年間の授業を行う期間が確認できる資料(学年暦、年間スケジュール等) ・ <u>6-4-1-01_(02)大学院学年暦(令和元年度)</u> ● シラバス ・ <u>6-3-2-01_(02)令和元年度シラバス(博士前期課程)</u> ・ <u>6-3-2-02_(02)令和元年度シラバス(博士後期課程)</u>
【特記事項】 ①上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を 400 字以内で記述すること。 ・ 該当なし	
②この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、 <u>根拠資料とともに</u> 簡条書きで記述すること。 ・ 該当なし	
【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。(該当する口欄をチェック■) <input checked="" type="checkbox"/> 当該基準を満たす <input type="checkbox"/> 当該基準を満たさない	
優れた成果が確認できる取組 ・ 該当なし	
改善を要する事項 ・ 該当なし	

教育課程と学習成果（点検実施年度：R2 年度（R 元年度実績））	
評価基準	評価基準に係る根拠資料・データ欄
<p>8 授業形態・学習指導法</p> <ul style="list-style-type: none"> 適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されているか。 <p>※ 毎年度点検</p>	<ul style="list-style-type: none"> シラバスの全件、全項目が確認できる資料（電子シラバスのデータ(csv)、又はURL等）、学生便覧等関係資料 <ul style="list-style-type: none"> 6-4-3-01_(00)シラバス(令和元年度) 授業担当者に対するシラバスの記載方法の指導方法及び記載要領等の資料 <ul style="list-style-type: none"> 6-3-2-01_(00)シラバス記入注意事項・シラバス記入例(令和元年度) シラバス記載の適切性についてのチェック体制が確認できる資料 <ul style="list-style-type: none"> 6-4-3-02_(00)シラバス WG 資料 2019 前期シラバス修正日程 6-4-3-03_(00)シラバス WG 資料 2019 後期シラバス修正日程 アクティブラーニング、PBL 等の実施状況が確認できる資料 <ul style="list-style-type: none"> 6-4-3-02_(01)令和元年度 AL データ検証報告(大学院)
<p>【特記事項】</p> <p>①上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を 400 字以内で記述すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> 該当なし 	
<p>②この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、<u>根拠資料とともに箇条書きで記述すること。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 該当なし 	
<p>【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。（該当する口欄をチェック■）</p> <p>■ 当該基準を満たす □ 当該基準を満たさない</p>	
<p>優れた成果が確認できる取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 該当なし 	
<p>改善を要する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 該当なし 	

教育課程と学習成果（点検実施年度：R2 年度（R 元年度実績））	
評価基準	評価基準に係る根拠資料・データ欄
<p>9 授業科目の担当</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当しているか。 <p>※ 該当なし</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 教育上主要と認める授業科目 ● シラバス
<p>【特記事項】</p> <p>①上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を 400 字以内で記述すること。</p> <p>.</p>	
<p>②この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、<u>根拠資料とともに簡条書き</u>で記述すること。</p> <p>.</p>	
<p>【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。（該当する口欄をチェック■）</p> <p><input type="checkbox"/> 当該基準を満たす</p> <p><input type="checkbox"/> 当該基準を満たさない</p>	
<p>優れた成果が確認できる取組</p> <p>.</p>	
<p>改善を要する事項</p> <p>.</p>	

教育課程と学習成果（点検実施年度：R2 年度（R 元年度実績））	
評価基準	評価基準に係る根拠資料・データ欄
<p>10 教育方法の特例</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大学院において教育方法の特例（大学院設置基準第 14 条）の取組として夜間その他特定の時間又は期間に授業を行っている場合は、法令に則した実施方法となっているか。 <p>※ 毎年度点検</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 大学院規則 <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>6-4-6-01_(02)工学研究科規則</u> 第4条(履修方法) ・ <u>6-4-6-02_(02)履修計画(令和元年度)</u>
<p>【特記事項】</p> <p>①上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を 400 字以内で記述すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 該当なし 	
<p>②この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、<u>根拠資料とともに簡条書き</u>で記述すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 該当なし 	
<p>【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。（該当する口欄をチェック■）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 当該基準を満たす <input type="checkbox"/> 当該基準を満たさない</p>	
<p>優れた成果が確認できる取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 該当なし 	
<p>改善を要する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 該当なし 	

教育課程と学習成果（点検実施年度：R2 年度（R 元年度実績））	
評価基準	評価基準に係る根拠資料・データ欄
<p>11 夜間主授業における配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 夜間において授業を実施している課程を置いている場合は、配慮を行っているか。 <p>※ 該当なし</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 実施している配慮が確認できる資料
<p>【特記事項】</p> <p>①上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を 400 字以内で記述すること。</p> <p>.</p>	
<p>②この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、<u>根拠資料とともに簡条書き</u>で記述すること。</p> <p>.</p>	
<p>【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。（該当する口欄をチェック■）</p> <p><input type="checkbox"/> 当該基準を満たす</p> <p><input type="checkbox"/> 当該基準を満たさない</p>	
<p>優れた成果が確認できる取組</p> <p>.</p>	
<p>改善を要する事項</p> <p>.</p>	

教育課程と学習成果（点検実施年度：R2 年度（R 元年度実績））	
評価基準	評価基準に係る根拠資料・データ欄
<p>12 履修指導体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われているか。 <p>※ 3年に一度の点検（次回実施予定：令和4年度）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 履修指導の実施状況
<p>【特記事項】</p> <p>①上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。</p> <p>.</p>	
<p>②この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、<u>根拠資料とともに簡条書き</u>で記述すること。</p> <p>.</p>	
<p>【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。（該当する口欄をチェック■）</p> <p><input type="checkbox"/> 当該基準を満たす</p> <p><input type="checkbox"/> 当該基準を満たさない</p>	
<p>優れた成果が確認できる取組</p> <p>.</p>	
<p>改善を要する事項</p> <p>.</p>	

教育課程と学習成果（点検実施年度：R2 年度（R 元年度実績））	
評価基準	評価基準に係る根拠資料・データ欄
<p>13 学習相談体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助言、支援が行われているか。 <p>※ 3年に一度の点検（次回実施予定：令和4年度）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習相談の実施状況
<p>【特記事項】</p> <p>①上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。</p> <p>・</p>	
<p>②この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、<u>根拠資料とともに簡条書き</u>で記述すること。</p> <p>・</p>	
<p>【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。（該当する□欄をチェック■）</p> <p><input type="checkbox"/> 当該基準を満たす</p> <p><input type="checkbox"/> 当該基準を満たさない</p>	
<p>優れた成果が確認できる取組</p> <p>・</p>	
<p>改善を要する事項</p> <p>・</p>	

教育課程と学習成果（点検実施年度：R2 年度（R 元年度実績））	
評価基準	評価基準に係る根拠資料・データ欄
<p>14 社会的・職業的自立支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施しているか。 <p>※ 毎年度点検</p>	<ul style="list-style-type: none"> 社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組 <ul style="list-style-type: none"> 6-5-3_(02)社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組(令和元年度) 6-5-3-01_(00)合同 OB・OG 懇談会要項(令和元年度) 6-5-3-01_(02)ドクコン実施要領(令和元年度) インターンシップを実施している場合は、その実施状況が確認できる資料(実施要項、提携・受入企業、派遣・単位認定実績等) <ul style="list-style-type: none"> 6-5-3-02_(00)インターンシップ実施要項(令和元年度) 6-5-3-03_(00)インターンシップ担当教員一覧(令和元年度) 6-5-3-04_(00)インターンシップ実施結果(令和元年度)
<p>【特記事項】</p> <p>①上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を 400 字以内で記述すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> 該当なし 	
<p>②この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、<u>根拠資料とともに簡条書きで記述すること。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 該当なし 	
<p>【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。（該当する口欄をチェック■）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 当該基準を満たす <input type="checkbox"/> 当該基準を満たさない</p>	
<p>優れた成果が確認できる取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 該当なし 	
<p>改善を要する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 該当なし 	

教育課程と学習成果（点検実施年度：R2 年度（R 元年度実績））	
評価基準	評価基準に係る根拠資料・データ欄
<p>15 学習支援体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 障害のある学生、留学生、その他履修上特別な支援を要する学生に対する学習支援を行う体制を整えていること。 <p>※ 毎年度点検</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 履修上特別な支援を要する学生等に対する学習支援の状況 <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>6-5-4_(02)履修上特別な支援を要する学生等に対する学習支援の状況(令和元年度)</u> ・ <u>4-2-4-01_障がい者支援に係る全学的支援体制図</u> ● チューター等を配置している場合は、その制度や配置状況が確認できる資料 <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>6-5-4-01_(00)外国人留学生チューター制度体制図</u> ・ <u>6-5-4-02_(00)外国人留学生チューター配置状況(2019 年度)</u> ● 留学生に対する外国語による情報提供(時間割、シラバス等)を行っている場合は、その該当箇所 <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>6-5-4-03_(00)留学生の日本語授業について(2019 年度)</u> ・ <u>6-5-4-04_(00)日本語クラス時間割(2019 年度)</u> ・ <u>6-5-4-05_(00)日本語授業受講者数一覧(2019 年度)</u> ・ <u>6-5-4-06_(02)2019 年度大学院履修要項</u> ・ <u>6-5-4-07_(02)シラバス(2019 年度_201904~202003)</u> ● 障害のある学生に対する支援(ノートテーカー等)を行っている場合は、その制度や実施状況が確認できる資料 <ul style="list-style-type: none"> ・ 該当なし ● 特別クラス、補習授業を開設している場合は、その実施状況(受講者数等)が確認できる資料 <ul style="list-style-type: none"> ・ 該当なし ● 学習支援の利用実績が確認できる資料 <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>4-2-1-16_修学支援申請一覧(令和元年度)</u>
<p>【特記事項】</p> <p>①上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を 400 字以内で記述すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 該当なし 	
<p>②この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、<u>根拠資料とともに簡条書きで記述すること。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 該当なし 	

【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。（該当する口欄をチェック■）

- 当該基準を満たす
- 当該基準を満たさない

優れた成果が確認できる取組

- ・ 該当なし

改善を要する事項

- ・ 該当なし

教育課程と学習成果（点検実施年度：R2 年度（R 元年度実績））	
評価基準	評価基準に係る根拠資料・データ欄
<p>16-1 成績評価・単位認定</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 成績評価基準を学位授与方針及び教育課程方針に則して定められている学習成果の評価の方針と整合性をもって、組織として策定しているか。 <p>※ 6年に一度の点検（次回実施予定：令和7年度）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 成績評価基準
<p>16-2 成績評価・単位認定</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 成績評価基準を学生に周知しているか。 <p>※ 6年に一度の点検（次回実施予定：令和7年度）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 成績評価基準を学生に周知していることを示すものとして、学生便覧、シラバス、オリエンテーションの配布資料等の該当箇所
<p>16-3 成績評価・単位認定</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認しているか。 <p>※ 3年に一度の点検（次回実施予定：令和4年度）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 成績評価の分布表 ● 成績評価分布等のデータを関係委員会等で確認するなど組織的に確認していることに関する資料 ● GPA制度の目的と実施状況についてわかる資料 ● （個人指導等が中心となる科目の場合）成績評価の客観性を担保するための措置についてわかる資料
<p>16-4 成績評価・単位認定</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 成績に対する異議申立て制度を組織的に設けているか。 <p>※ 6年に一度の点検（次回実施予定：令和7年度）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 学生からの成績評価に関する申立ての手続きや学生への周知等が明示されている資料 ● 申立ての内容及びその対応、申立ての件数等の資料・データ ● 成績評価の根拠となる資料（答案、レポート、出席記録等）
<p>【特記事項】</p> <p>①上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。</p> <p>・</p> <p>②この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、<u>根拠資料とともに簡条書き</u>で記述すること。</p> <p>・</p>	

【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。（該当する□欄をチェック■）

- 当該基準を満たす
- 当該基準を満たさない

優れた成果が確認できる取組

改善を要する事項

教育課程と学習成果（点検実施年度：R2 年度（R 元年度実績））	
評価基準	評価基準に係る根拠資料・データ欄
<p>17-1 卒業又は修了の要件・学位論文審査基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大学等の目的及び学位授与方針に則して、卒業又は修了の要件（以下「卒業（修了）要件」という。）を組織的に策定しているか。策定した卒業又は修了要件を学生に周知しているか。 <p>※ 6年に一度の点検（次回実施予定：令和7年度）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 卒業又は修了の要件を定めた規定 ● 卒業又は修了判定に関する教授会等の審議及び学長など組織的な関わり方を含めて卒業（修了）判定の手順が確認できる資料 ● 卒業（修了）要件を学生に周知していることを示すものとして、学生便覧、シラバス、オリエンテーションの配布資料、ウェブサイトへの掲載等の該当箇所
<p>17-2 卒業又は修了の要件・学位論文審査基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大学院教育課程においては、学位論文又は特定の課題についての研究の成果の審査に係る手続き及び評価の基準（以下「学位論文審査基準」という。）を組織として策定しているか。策定した学位論文審査基準を学生に周知しているか。 <p>※ 6年に一度の点検（次回実施予定：令和7年度）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 学位論文（課題研究）の審査に係る手続き及び評価の基準 ● 修了判定に関する教授会等の審議及び学長など組織的な関わり方が確認できる資料 ● 学位論文（課題研究）の審査基準を学生に周知していることを示すものとして、学生便覧、シラバス、オリエンテーションの配布資料、ウェブサイトへの掲載等の該当箇所
<p>17-3 卒業又は修了の要件・学位論文審査基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 卒業又は修了の認定を、卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む）に則して組織的に実施しているか。 <p>※ 6年に一度の点検（次回実施予定：令和7年度）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 教授会等での審議状況等の資料（専門職学位課程を除く大学院課程の分析） ● 学位論文（特定課題研究の成果を含む。）に係る評価基準、審査手続き等 ● 学位論文の審査体制、審査員の選考方法が確認できる資料 ● 審査及び試験に合格した学生の学位論文
<p>【特記事項】</p> <p>①上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。</p> <p>・</p> <p>②この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。</p> <p>・</p>	
<p>【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。（該当する口欄をチェック■）</p> <p><input type="checkbox"/> 当該基準を満たす</p> <p><input type="checkbox"/> 当該基準を満たさない</p>	

優れた成果が確認できる取組

.

改善を要する事項

.

教育課程と学習成果（点検実施年度：R2 年度（R 元年度実績））	
評価基準	評価基準に係る根拠資料・データ欄
<p>18-1 学習成果等</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率が、大学等の目的及び学位授与方針に則した状況にあるか。 <p>※ 毎年度点検</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 標準修業年限内の卒業（修了）率（過去5年分） ● 「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率（過去5年分） <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>6-8-1_(02)標準修業年限内の卒業（修了）率（及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率（令和元年度更新）</u> ● 資格の取得者数が確認できる資料 <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>6-8-1-01_(00)教育職員免許状一括申請（R1）</u> ● 論文の採択・受賞状況、各コンペティション等の受賞状況が確認できる資料 <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>6-8-1-02_(00)学会賞受賞者一覧（R1）</u>
<p>18-2 学習成果等</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 就職（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学率が、大学等の目的及び学位授与方針に則した状況にあるか。 <p>※ 毎年度点検</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 就職率（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学率の状況（過去5年分） 主な進学/就職先（起業者も含む） <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>6-8-2_(02)就職率（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学率の状況（令和元年度）</u> ● 学校基本調査で提出した「該当する」資料（大学ポータルにある場合は該当URL） <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>6-8-2-01_(00)学校基本調査（令和元年度）-博士前期</u> ・ <u>6-8-2-02_(00)学校基本調査（令和元年度）-博士後期</u> ● 卒業（修了）生の社会での活躍等が確認できる資料（新聞記事等） <ul style="list-style-type: none"> ・ 該当なし
<p>18-3 学習成果等</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 卒業（修了）時の学生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られているか。 <p>※ アンケートの実施時期ごとに点検</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 学生からの意見聴取（学習の達成度や満足度に関するアンケート調査、学習ポートフォリオの分析調査、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料 <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>6-8-3-01_(02)修了予定者アンケート調査結果（令和元年度）</u>
<p>18-4 学習成果等</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 卒業（修了）後一定期間の就業経験等を経た卒業（修了）生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られているか。 <p>※ アンケートの実施時期ごとに点検</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 卒業（修了）後、一定年限を経過した卒業（修了）生についての意見聴取（アンケート、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料 <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>6-8-4-01_(02)卒業生アンケート集計結果（平成 30 年度実施）</u> ※卒業生（大学院修了生も含む）に対するアンケート調査は 3 年ごとに実施しており、平成 30 年度に実施したものが最新になる ● 意見聴取に関する資料（卒業（修了）後一定期間（例えば「5年間」等大学が適切と考える期間）経過時）

<p>18-5 学習成果等</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 就職先等からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られているか。 <p>※ アンケートの実施時期ごとに点検</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 就職先や進学先等の関係者への意見聴取(アンケート、懇談会、インタビュー等)の概要及びその結果が確認できる資料 <ul style="list-style-type: none"> ・ 6-8-5-01_(02)企業アンケート集計結果(平成 30 年度実施) ※卒業生(大学院修了生も含む)が就職した企業に対するアンケート調査は 3 年ごとに実施しており、平成 30 年度に実施したものが最新になる
<p>【特記事項】</p> <p>①上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を 400 字以内で記述すること。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 該当なし 	
<p>②この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、<u>根拠資料とともに箇条書きで記述すること。</u></p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 該当なし 	
<p>【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。(該当する口欄をチェック■)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 当該基準を満たす</p> <p><input type="checkbox"/> 当該基準を満たさない</p>	
<p>優れた成果が確認できる取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 該当なし 	
<p>改善を要する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 該当なし 	